

INTERNAL OPERATION MANUAL / INSTRUCTOR

運営マニュアル (講師・運営向け)

司会進行 / 詰まり対処 / デモ切替判断 /
講師メッセージ

提供	Givery 株式会社 / 講師 安田 光喜
配布範囲	講師・営業ファシリ・営業のみ。受講者には配布しない
研修	PwC 様向け Claude Code 活用実践研修(2 日間 × 2 回)
版数	v1.1(2026 年 5 月 1 日)

本書は内部資料です。受講者には配布しません。受講者向け資料は「ハンズオンガイド Day1 / Day2」にタイムテーブルと演習ナビゲーションのみを記載しています。

1. 役割分担

役割	担当	当日の主な責務
講師	安田 光喜 (Givery)	全進行、受講者対応、講義、ヒント提供
営業ファシリ	高橋 美穂 (Givery)	開始時の挨拶、休憩管理、提出物回収、講師補助
営業	加藤 智也 (Givery)	商談継続、Day 終了後のフォローアップ、議事録

2. Day 1 司会進行詳細

2.1 タイムテーブル(参考、受講者用と同じ枠)

開始	終了	区分	担当
09:00	09:30	S01 オープニング	講師
09:30	11:00	S02 ベストプラクティス講義	講師
11:00	11:10	休憩	-
11:10	12:30	S03 前半(Ex1-3)	講師 + 巡回
12:30	13:30	昼休憩	-
13:30	14:40	S03 後半(Ex4-6)	講師 + 巡回
14:40	14:50	休憩	-
14:50	16:50	S04 自律開発(Ex7)	巡回中心
16:50	17:00	クロージング	講師

2.2 S01 オープニング(30 分)

- 5 分:講師自己紹介、注意事項(カメラ・録画・休憩・トイレ位置)
- 10 分:受講者ヒアリング(普段どう使っているか、本日の到達目標)
- 10 分:題材(架空案件 MTKZ-CRM-2026)の紹介。1 分ずつ「田中・佐藤・山田」を人物紹介
- 5 分:本日の進行確認、提出物の説明

2.3 S02 ベストプラクティス講義(90 分)

座学編 PDF を投影。7 つの概念を均等にではなく「CLAUDE.md / Skills / Subagents」を厚く(合計 50 分)、「Hooks / MCP」を概念だけ(合計 20 分、Day 2 で深掘り)、「コスト管理 / コードレビュー&セキュリティレビュー」を 20 分。

時間	テーマ	補足
09:30-09:50	CLAUDE.md(20 分)	5 項目以内ルール、AGENTS.md との分離
09:50-10:10	Skills(20 分)	description の書き方、入出力フォーマット
10:10-10:30	Subagents(20 分)	tools 制限、並列化の効果
10:30-10:40	Hooks 概念(10 分)	Day 2 で深掘り
10:40-10:50	MCP 概念(10 分)	Day 2 で深掘り
10:50-11:00	コスト・モデル選択 + コード&セキュリティレビュー(10 分)	Exercise 4-6 への橋渡し

2.4 Exercise 1~6(合計 150 分)

巡回しながら個別介入。各演習の最後 5 分で「考察ポイント」を全体共有してから次へ。詰まりポイントの典型と対処は §4 を参照。

2.5 Exercise 7 自律開発(120 分)

ヒントのみ。受講者本人の試行錯誤が学習。詰まりが 10 分以上続く場合のみ介入。最後 10 分で提出物の整理時間を取らせませす。

2.6 クロージング(10 分)

- 提出方法と期限
- Day 2 朝の流れ予告
- 「明日からの宿題」アナウンス:Day 1 で印象に残ったプロンプト 3 つを社内チャットで共有

3. Day 2 司会進行詳細

3.1 タイムテーブル(参考)

開始	終了	区分	担当
09:00	09:20	Ex1 リフレクション	講師
09:20	10:10	Ex2 並列 Agent	講師 + 巡回
10:10	10:20	休憩	-
10:20	11:10	Ex3 Hooks	講師 + 巡回
11:10	11:50	Ex4 Cron	講師 + デモ判断
11:50	12:30	Ex5 MCP	講師 + デモ判断
12:30	13:30	昼休憩	-
13:30	14:00	Ex6 前半 DESIGN.md	講師
14:00	15:40	Ex6 後半 仕上げ実装	巡回中心
15:40	15:50	休憩	-
15:50	16:20	Ex7 前半 共有・デモ	講師
16:20	16:50	Ex7 後半 情報源探索	講師
16:50	17:00	クロージング	講師

3.2 Ex1 リフレクションの発表者選定基準

事前に Day 1 提出物を読み、2~3 名を選定。

- 「詰まりからの突破」が見える例
- 「指示の出し方」が Ex1 と Ex7 で明確に進化した例
- 候補 A / B / C の選択別で偏らないように 1 名ずつ

3.3 Ex4 Cron / Ex5 MCP のデモ切替判断

事前環境確認(佐野様マターでの確認結果)に基づき、当日朝に判断します。

確認項目	OK ならハンズオン	NG ならデモ
Bash / WSL2 / Git Bash	Ex3 をハンズオン	macOS 講師環境で実演
cron / launchd / タスクスケジューラ登録権限	Ex4 をハンズオン	講師環境で実演
npx + uvx の社外通信	Ex5 をハンズオン	講師環境で実演
WebSearch	Ex7 で公式情報源を一緒に開く	リファレンス集 PDF + QR コード

「環境制約により受講者ハンズオン不可」と判明している場合は、該当セッションを「講師デモ 30 分 + Q&A 10 分」に切り替えます。

3.4 Ex7 締め講師メッセージ

最低限版(30 秒):時間が押した場合

Claude Code はコードを書く道具ですが、扱える対象はコードに限りません。半年後にまた変わります。今日ブックマークした URL と月 1 の Changelog 読みを、まず 3 か月続けてください。本日はありがとうございました。

本編(2 分):時間に余裕がある場合

Claude Code はコードを書く道具ですが、扱える対象はコードに限りません。今日触れた CLAUDE.md / Skills / Subagents / Hooks / MCP の組み合わせは、文章を書く、データを整理する、業務フローを設計する、研修資料を作る、といった対象にも同じ形で適用できます。

もう 1 点。これから半年で Claude Code は確実にまた変わります。今日の手順がそのまま動かなくなる場面が来ます。それを「困った」と捉えるか、「機能が増えて面白い」と捉えるかは、情報源とのつながり方で決まります。今日ブックマークした 3 つの URL と、月 1 の Changelog 読みの 30 分を、まずは 3 か月続けてみてください。

本日はありがとうございました。

4. 受講者が詰まりやすいポイントと対処

4.1 Day 1

詰まりポイント	想定原因	介入方針
Skill が呼び出されない	description が抽象的すぎる	1 行で具体名詞を 2 つ含める例を示す。受講者の Skill を画面で見せて修正を促す
Subagent から戻ってこない	tools が不足、または応答が長すぎてタイムアウト	tools に Read を追加。プロンプトを「JSON のみ返答」と明示
<code>/analyze-transcript</code> が動かない	risk_extractor.py が未実装、または LLM の JSON が崩れる	Ex3 の手順書通りに <code>_parse_response</code> の <code>...</code> 除去処理を入れる
code-reviewer が偽陽性を出す	description の判定基準が曖昧	severity 4 段階の境界を本文に明示する
3 モデル比較で Haiku が動かない	Pro / Max サブスクリプションの権限、または社内中継基盤の許可モデル制限	中継基盤の許可リストを確認。許可外なら Sonnet と Opus の 2 モデル比較に縮小

4.2 Day 2

詰まりポイント	想定原因	介入方針
Hook が起動しない	shebang / 改行コード / 実行権限	<code>chmod +x</code> と LF 改行確認。Windows は WSL2 / Git Bash 切替
自動フォーマットが走らない	ruff / prettier 未インストール	<code>pip install ruff</code> 。prettier は frontend ディレクトリ配下の <code>npx prettier --write</code> に対応。社内中継経由でレジストリにアクセスできない環境では別途案内
cron 登録したが実行されない	絶対パス未指定、% エスケープ漏れ	<code>which claude</code> で絶対パス取得、 <code>%Y</code> を <code>\%Y</code> に修正
MCP が接続しない	<code>.mcp.json</code> の構文エラー、外部通信ブロック	JSON 検証、Claude Code のログ確認。外部通信ブロックなら Ex5 デモ切替
DESIGN.md の配色が反映されない	tailwind.config.js への反映漏れ	<code>npm run dev</code> 再起動。 <code>extend.colors</code> の整合確認
Ex6 で時間切れ	スコープが広すぎる	最初の 10 分で「ゴール 3 行」を書かせ、スコープを絞らせる

5. 提出物の集約方法

5.1 Day 1

- 受講者は社内チャット DM で講師宛に送付
- 講師は 17:30 までに全員分受領を確認、不足者にリマインド
- 22:00 までに Day 2 朝のリフレクション用に発表者 2~3 名を選定

5.2 Day 2

- Ex7 中に各自カレンダー登録と URL ブックマークを完了させる
- 提出物は Ex7 の中で口頭共有のみ。書面提出は任意

6. 緊急時対応

6.1 受講者の環境が壊れて演習が進まない

- 5分以内に解決できなければ、Day 1 完成形リポジトリの該当ファイルをコピーさせて先に進める
- Ex7 自律開発に到達するまでが優先。完成度より「全員が触れる」を優先

6.2 講師の機材トラブル

- 営業ファシリ(高橋)が代行して進行を止める
- 5分以内に復旧しなければ休憩を前倒し

6.3 受講者から技術質問で答えられない

- 「Day 終了後に確認して回答します」と明言し、ノートに残す
- 「不明」と答えるのは構わないが、「曖昧に答える」のは禁止

禁止: 曖昧な回答

コンサル企業の受講者に対して曖昧な回答は信頼を一気に失います。「不明」「持ち帰り確認」のほうが、推測で答えるよりずっと安全です。

7. 研修後フォローアップ

- Day 2 終了後 1 週間以内: 講師から各受講者に「印象に残ったポイント 1 つ」のフィードバックメール(任意)
- 1 か月後: 高橋から定例の振り返りミーティングをオファー(任意)
- 3 か月後: 加藤から PwC 様窓口(佐野様)に研修効果のヒアリング



Claude Code 活用実践研修(PwC 様向け)

© Givery, Inc. All Rights Reserved.